



かみかわ町

議会だより

No. 73

令和6年
3月1日発行

この町は あなたが住む町 つくる町 神川町議会

令和5年

12月

定例会

6名の議員が一般質問を行う P.3

12月定例会水道基本料金の減免等 P.11

議会活動報告 P.12



議会の傍聴について

第1回定例会は3月

5 日(火) [午前9時～ 一般質問等] から

19 日(火) [午前9時～ 質疑・討論・採決等]
を予定しています。

新型コロナウイルスの感染状況により、議会の傍聴人数を制限する場合がありますので、ご了承ください。

表紙の写真

春の矢納

📷 撮影 フォーカス友の会 高柳 智子さん

表紙シリーズ 町内の風景写真

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。

12月定例会を開催



令和5年第4回神川町議会定例会は、12月5日から15日までの11日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された令和5年度一般会計及び特別会計の補正予算9件、条例改正13件、人事案件等4件を審議し、全議案を可決・同意いたしました。

また、議員提案の条例改訂や意見書も可決されました。（議案一覧及び審議結果は10ページをご覧ください。）

12月5日 一般質問

質問者	質問事項	掲載頁
川浦 雅子	1. 庁舎等の公共施設の設計業務について 2. 子どもの芸術体験格差と大人の運動能力低下傾向について 3. 小中一貫校について	3
新井 太一	1. 介護支援を通じた買物支援対策について 2. B&G 海洋センター体育館の熱中症対策について	4
坂本 貴佳	1. 町管理の土地について 2. 町の活性化について	5
剣持真菜美	1. 若者を呼び込むためのまちづくりについて	6
赤羽奈保子	1. 子育て支援について 2. 小学校統合と保護者負担について 3. 自転車用ヘルメットの購入助成について	7
四方田繁男	1. 第2次神川町総合計画の町民アンケート結果と考察について	8

一般質問とは、議員が町の現在の施策、将来の考え方や説明を町長などに求め、町民のための適切な町政運営を行っているかチェックするものです。12月定例会では、6名の議員が、町長をはじめ町当局の考えについて、質問しました。ここに、3ページ以降に掲載したものは、質問・答弁ともに質問者がまとめたものになります。

12月定例会の一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、3月上旬から町ホームページの神川町議会からも閲覧できますので、会議録の検索からキーワードを入力してご利用ください。



一般質問



川浦雅子議員

庁舎等の公共施設の設計業務

◆公建設は目的に合わせ 十分な確認を

公共施設の建設や改修完成後に、さらに改修する事例が、いくつも見受けられます。建設途中でのチェックや町職員の関わり方、ユニバーサルデザインの認識のもと、十分な検討がされているのか伺います。

【答え】町長 「利便性を考慮し 設計も十分に精査します」

公共施設の建設は専門的な部分が多く、設計管理業務を外部委託しています。施行時に、定期会議・行程・進捗状況の確認・協議等を行っています。今後も、住民が利用しやすいよう、設計の段階から十分に精査します。

子どもの芸術体験格差と 大人の運動能力低下傾向

◆芸術体験や体を動かす 習慣化への取組は

家庭の所得格差で芸術体験を得られない子を無くすためにも、公教育の果たす役割は大きいと考え、芸術鑑賞等を生で体験できる機会を作っていたきたい。また、スポーツ庁の調査では、大人も子どもも体力・運動能力が低下傾向にあります。運動習慣は、将来的な健康状態や生活の充実度にもつながることから、町民の意識を高める取組を伺います。

【答え】教育長 「豊かな芸術体験と 運動能力向上を図ります」

コロナ禍では、学校行事としては、芸術体験を行っています。また、芸術音楽の鑑賞会や演劇鑑賞会などを再開し、文化庁の実施する文化芸術等総合支援事業にも毎年応募しています。また、町でも、オンラインで昨年度よりNHK交響楽団によるユニーヤークンサートを中央公民館で開催し、豊かな感性を育む場の創出に努めています。今後も、家庭の経済格差が児童生徒の文化芸術の体験格差につながらないように努力します。

小中一貫校

◆保護者の不安の声も あるなかで

小学校統廃合という大きな課題に対して、意見の違いがあるなかでも、住民合意を目指す努力をしていきたい。

「小中一貫校」とする経緯や、神川中学校敷地内に小学校を設

置できる根拠やスクールバスの民営路線バス活用案も伺います。また、校舎の老朽化、維持費用の増加も統廃合の理由ですが、他の施設として利用可能なのか伺います。

【答え】教育長 「アンケート調査により 合意形成を努めます」

小中一貫校導入により、勉強が好きになる生徒が増え、中学校への不安が減少する等の調査結果もあり、中一ギャップの減少も期待され、より良い教育環境が整うと考えられます。地域住民の合意形成は大事なことで、不安・不満・要望等を先行する青柳・渡瀬小学校統合準備委員会で解決していきます。敷地面積は、学年一クラスの小学校を建てるので十分に入ります。スクールバスは民間路線を含めて安全性や負担感等、最大の配慮を検討しています。廃校後の校舎は、町全体の計画のなかで決めていきます。

一般質問



新井太一議員

介護支援を通じた買物支援対策

◆移動販売車の導入を!!

全国的に人口減少や少子高齢化が進むなか、神川町においても高齢化や小売店の減少を主とする様々な要因により、食料品など日用品の買物が困難な状況に置かれている人々、いわゆる買物弱者の方が年々増加している現状にあり、危険を承知で自動車を運転するお年寄りも多く、買物難民という社会問題に直面しています。

買物支援策として定期的に地域を回り、高齢者の見守りやコミュニケーションの場などの役割も果たせるため、町内スーパーやドラッグストアなどと連携し、移動販売車の導入が必要と考えますが、町の考えを伺います。

答え 町長

「官民連携の効果的な生活支援を研究します」



町では、令和4年度に65歳以上の高齢者を対象に、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施し、約2割の方が買物支援、通院支援を挙げています。

町では、介護保険分野で見守りを目的とした配食サービスや、買物支援に特化したデイサービス等の仕組みを設けて支援を実施しています。福祉分野では、移動支援としてタクシー券制度も多くの方の利用をいただいています。

高齢者が住み慣れた地域で自分的に暮らしを続けていくためには、高齢者の生活を地域で支える生活支援体制の整備が必要であり、移動販売も重要なサ

ービスの一つです。

今後、官民連携の効果的な生活支援対策の一つとして研究します。

B&G海洋センター体育館の熱中症対策

◆熱中症対策は？

近年、地球温暖化や異常気象により、夏場の気温が40度にも達する地域も多くなり、熱中症対策が課題になっています。

スポーツ推進を宣言している神川町の基幹施設としてのB&G海洋センター体育館では、真夏でも住民の方やスポーツ少年団の練習や試合などで町内外から多くの方の利用がありますが、現在空調設備が設置されていないため、夏の猛暑日などには、体育館内の気温が上昇し、運動する利用者の熱中症が心配される状況です。熱中症対策として、体育館内にエアコンの空調設備の導入や、遮熱塗装などの対策が必要と考えますが、町の考えを伺います。

答え 教育長

「健康を重視した熱中症対策に努めます」

体育館の空調施設導入の検討では、床面積や天井の高さから大規模な空調施設の設置が必要になることや、バドミントンなどの屋内競技を行う際の風の影響等を考えると、さらに、導入コストが高額になります。また、遮熱塗装は、海洋センターの屋根は特殊な形状のため、多額の費用がかかります。

現状の対策は、経口補水液や保冷剤等を用意して、窓を全て開けて、サーキュレーターや扇風機を使用して風通しをよくするなど、の対策をしています。

今後は、スポットクーラーの導入やサーキュレーターの台数を増やすなど、利用環境の向上のために努めます。真夏の運動の危険性は十分認識していますので、運動する人たちへの呼びかけや、安全な水分補給等の健康上のアドバイスなどを重視しながら、当面对応していきます。

一般質問



坂本貴佳議員

町管理の土地

◆町管路の土地 未使用町道の今後は

令和4年12月定例会で質問した、四軒在家にある町管理の農地は、どうなりましたか。この1年間の施策をお聞かせください。

また、未使用状態の町道の管理方法は怎么样了。住民の要望、使用意思等を調査し、必要に応じた払下げや公売を行い、地区の発展に寄与する町道保全を判断すべきと思いますが、町の方針を伺います。

答え 町長

「積極的な払下げ 公売は行わない」

四軒在家の土地は、令和5年1月に雑種地への地目変更登記を完了し、民間企業での利活用や売却を含め検討します。

町道管理は、神川町道路維持管理条例により管理を行い、馬入れと呼ばれる町道等は、隣接する地権者等に地先管理を依頼しています。

町道の払下げは、利害関係や感情的摩擦が生じないために、隣接者の同意が必要で、積極的に町道払下げは考えていません。なお、払下げ申請は当該土地に隣接している土地所有者に限られ、公売や競売にそぐわないと考えています。

町の活性化

◆どうする？

農業振興地域整備計画

町の農業振興地域内の土地は、農業の将来を考え国の補助金を導入し実施した土地改良事業の結果、農業以外の使用はできません。

しかし、この変更は概ね5

年毎に基本調査を行い、経済事情の変動等で必要があれば、高いハードルではありますが、可能です。

町経済の活性化には、時代に即した土地政策が重要で、住民の意向と町の総合計画に則り、必要な農地は残しつつも、町中央部、国道脇、県道脇等、今よりは自由に利用できる雑種地等への変更を検討する時期と思いますが、町の考えを伺います。

答え 町長

「農業振興地域整備計画は 国・県と協議していきます」

農業振興地域整備計画は優良な農地を守る立場からつくられ、その農地は国から多額の補助金が導入され、見直しについては具体的な事業計画を示すなど様々な条件を満たす必要があります。高いハードルとなっています。

また、農業振興地域整備計画は、自治体ごとに定められ、町の総合計画等に沿って整備していくことから、今後も優良農地を守りつつ、町の活性化を図る



農山漁村発イノベーションの取組みのイメージ：
農林水産省 Web サイト [https://www.maff.go.jp/j/nousin/inobe/index.html]

ため、国、県と協議をしていきます。

一般質問



剣持 真菜美 議員

若者を呼び込むための

まちづくり

◆若者流出からの再生！

神川町では高齢化と人口減少が進み、それに伴う空き家増加や農業後継者不足などの深刻な課題が浮上し、全ての課題に共通して「若者の流出」が要因と考えられます。

町のアンケートでは、若者支援の重要性が認識されつつも実際の満足度は低い状況です。一方で、若い世代を中心に地方移住への関心が高まり、感染症の拡大に伴うテレワーク普及などの影響もあり、全国的に移住相談件数が増加しています。神川町の取組みとして「移住支援金交付事業」を展開していますが、予算減少や新たな政策の必要性も浮かび上がっています。Uターンへの対策も重要ですが、それと同時に、神川町付近に通う

学生・若者達をもっと神川町の町づくり・活性化への取組みに巻き込めるような、そして、定住へと繋がるような仕組みづくりも必要ではないでしょうか。町として、現状の認識と分析また、新しい取組みを進める考えはあるかを伺います。

答え 町長

「先進地や民間事業者と連携も視野に入れます」

人口減少は国や町にとって様々な影響をもたらす全国的な課題です。町の人口動向は入転出状況から転入超過傾向が見られるものの、出生数に比べて亡くなる方が多く、総人口は減少しています。

町では、子育て支援策として給食費の無償化や神川版ネウボラなど様々な施策を行っていますが、地域で育った子どもが進学や就職のために転出する例も

多いようです。

今後は、今住んでいる若者が神川町にとどまっていたり、施策や、他市町村の若者が神川町に住みたくなる施策につきまして、先進地の事例研究や民間事業者との連携なども視野に入れながら検討していきます。



Before (前) 杉戸町所有の駐輪場



After 仕事創造ファクトリー「ひとつ屋根の下」：
創造的に活動したい人が、仕事を通して人・地域につながる場

一般質問



赤羽 奈保子 議員

子育て支援

◆切れ目のない 子育て支援を

子育て支援を

子育て世帯訪問支援臨時特例事業は、家事、育児等に不安、負担を抱えた子育て世帯、妊産婦、ヤングケアラーのいる家庭に訪問し、家事支援や子育ての悩み等を聞いてあげるなど、家事、育児の支援をすることにより、虐待のリスクを減らし、一人でも多くのお母さんに寄り添い、トータルで支援してくれる産後ドゥーラの育成と導入が必要と考えますが、町の考えを伺います。

答え 町長

「産後ドゥーラの理念を

子育て支援に生かします」

町では、妊娠初期から訪問や面談、育児教室を通して母親と

会話することを重ね、手厚い支援を行っており、相談しやすい環境を整えてきました。また、産後ドゥーラの理念であります「母親にも愛情を注ぐことで、こどもはすくすく育つ」は、まさに神川町が目指すところでもあります。

この理念を今後の町のさらなる子育て支援の充実に生かします。

小学校統合と保護者負担

◆小学校の統廃合時に 公平な保護者負担を

公平な保護者負担を

小学校の統合に向けて、町内各所で町民説明会を開催していただきましたが、具体的な説明はなかったように感じます。

学校で用意された算数セットと入学時に自己負担で用意した場合の名前を貼付ける保護者の負担軽減の考えはありますか。

体操着等の違いも、いじめや仲間外れの原因になるのではないかと心配の声も上がっています。また、通学距離が同じような場合、先に統合する学校と、その後統合する場合のバス利用についても公平性に欠けると考えますが、保護者の費用負担も含め公平に行う考えはあるか伺います。

答え 教育長

「公平性は重要な課題と

認識しています」

小学校統合に伴い、教材費等の保護者負担は、公平性を保つことが重要な課題であると認識しています。現在、統合に向けて協力をいただいている統合準備委員会の議題の中で偏りのない保護者負担を協議・研究していきます。

スクールバスの運行は重要なポイントです。現在は町全体のスクールバスの運行は考えていません。まずは、統合する渡瀬小学校の子どもたちを最優先と考えています。

自転車用ヘルメットの購入助成

◆救える命

購入助成の考えは

昨年4月から改正道路交通法の施行に伴い、自転車に乗る全ての人を対象にヘルメットの着用が努力義務になりました。警視庁の報告資料では、自転車事故で死亡した人の約7割が頭部に致命傷を負っています。

自転車用ヘルメットを助成することで、着用者が増えればと思うのですが、町の考えを伺います。

答え 町長

「購入補助制度を

検討しています」

町でも、広報や町ホームページ、交通安全キャンペーンを通じて、ヘルメット着用を周知しています。購入状況が低調と感じています。購入助成によるヘルメット着用の推進は、町内のヘルメット着用状況等を踏まえ、購入補助制度の創設に向け、内部で検討しています。

一般質問



四方田 繁男 議員

第2次神川町総合計画の 町民アンケート結果と考察

◆住民ニーズの多様化 町民の声を

平成28年度に神川町まちづくりアンケートを実施しました。この調査は新町建設計画の理念をさらに深化させていくため、これからのまちづくりを進めていくうえでの重要な指針となる「神川町第2次総合計画」を策定するにあたり町民の意向を広く取り入れ、計画に反映させることを目的として実施されています。計画では、この調査結果をもとにした総合計画の各事業をどのようにまちづくりに反映し目標と実績を得たのか具体的ににお聞かせください。

また、アンケート調査から7年間が経ち、コロナ禍をはじめ社会情勢や生活スタイルも変化し住民ニーズも多様化している

なか「町民の声」として、新たなアンケート調査を実施する予定や後期基本計画を見直す考えがあるか町長の考えを伺います。

答え 町長 「ニーズや満足度の 把握が大事」

町の最上位計画である神川町総合計画の策定にあたり、町民の皆様の見解を広く取り入れ、計画に反映させる事を目的にアンケートを実施したものです。4つの重点方針と5つの基本施策を定め、毎年度各具体的施策の目指す指標の進捗を確認することにより、目標値に対しての達成度を分析し公表しています。

この町民アンケートは平成28年に実施したもので現在は実施後約7年が経過しその間災害や新型コロナウイルスの流行など日本のみならず世界的にも社会情勢が変化しており、町民の方

のニーズもこれに伴い変化しています。

基本計画の見直しは予定しておりませんが満足度調査は、来年度に実施を予定しています。

今後も町の事業や各種計画を策定する際には、町民の皆様のニーズや満足度を把握する事が大事ですので町民アンケートの実施に向けて検討します。



12月定例会議案一覧及び審議結果「予算」

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	令和5年度神川町一般会計補正予算（第5号） こども医療費補助金630万円、戸籍情報システム改修委託費319万円、認定こども園整備に伴う測量業務委託費475万2千円など。歳入歳出各2752万5千円を追加し、補正後総額を歳入歳出各62億4521万1千円とする。	△
	令和5年度神川町一般会計補正予算（第6号） 重点支援地方交付金を活用したエネルギー・食料品価格等の物価高騰対策事業など。歳入歳出各1億4792万8千円を追加し、補正後総額を歳入歳出各63億9313万9千円とする。	○
	令和5年度神川町一般会計補正予算（第7号） 新型コロナウイルス予防接種健康被害給付事業費として歳入歳出各18万8千円を追加し、補正後総額を歳入歳出各63億9332万7千円とする。	○
	令和5年度神川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） システム改修費、保険給付費、給与費等を補正した。	○
	令和5年度神川町介護保険特別会計補正予算（第2号） システム改修費・介護予防給付を補正した。	○
	令和5年度神川町観光事業特別会計補正予算（第1号） 城峯公園の指定管理料の債務負担行為を設定した。	○
	令和5年度神川町水道事業会計補正予算（第2号） 電気代・給料等の補正や、検針・水質検査等の債務負担行為を設定した。	○
	令和5年度神川町水道事業会計補正予算（第3号） 水道料金の基本料金免除に事業費を補正した。	○
	令和5年度神川町下水道事業会計補正予算（第1号） 渡瀬浄化センターの債務負担行為を設定した。	○

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

12月定例会議案一覧及び審議結果「条例」

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 地方自治法の一部改正に伴い、改正する。	○
	神川町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例 柔軟な働き方を実装するための制度改革の推進等に伴う人事院規則の一部改正に伴い、条例の一部を改正する。	○
	神川町町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、一般職員と同様に町長等の期末手当の支給率を改正する。	○
	神川町職員の給与に関する条例及び神川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、神川町職員の給与に関する条例及び、一般職員と同様に神川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する。	○
	神川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 国家公務員との均衡を図り、世代間の給与配分を適正化するため、条例の一部を改正する。	△
	神川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正する。	○
	神川町総合福祉センター条例及び神川町保健センター条例の一部を改正する条例 保健・介護に係わる行政サービスの更なる充実を目指し、関係機能の再配置を行い、将来に渡り持続可能な体制を構築するため、条例の一部を改正する。	○
	神川町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 ひとり親家庭等医療費支給事業に係る県実施要綱の一部改正に伴い、条例の一部を改正する。	○
	神川町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正する。	○

町長提出議案	神川町下水道条例の一部を改正する条例 下水道公共ます等の新設等を改正する。	○
	神川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準及び子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正する内閣府令の施行に伴い、条例の一部を改正する。	○
	神川町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の公布に伴い、条例の一部を改正する。	△
	神川町手数料条例の一部を改正する条例 地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令及び地方公共団体の手数料の標準に関する政令に規定する総務省令で定める金額等を定める省令の一部を改正する省令の公布に伴い、条例の一部を改正する。	△

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

● ● 12月定例会議案一覧及び審議結果「人事・その他・議員提案等」 ● ●

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 中島とも代氏の任期満了（令和6年3月17日）に伴い、町長から秋山欣彦氏の推薦案が提出され、満場一致で同意した。	○
	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 山口幸雄氏の任期満了（令和6年6月30日）に伴い、町長から渡邊孝広氏の推薦案が提出され、満場一致で同意した。	○
	町道路線の廃止について 町道敷地の払下げにより、町道を廃止する。	○
	損害賠償の額を定めることについて 感染症予防事業費等国庫負担（補助）金返還額の損害賠償額を定める。	○
議員提出議案	神川町議会会議規則の一部を改正する規則 議会のICT化を目的にタブレット端末を導入するにあたり、本会議等での使用を規定する。	○
	神川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 町長等の期末手当の改定同様に、町議会議員の期末手当を改定する。	○
	神川町議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例 政務活動費の用途について、議会の透明性をより高める観点から、政務活動費の収支報告書を「 ^{みづら} 閲覧」から「公表」に改正する。	○
	神川町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例 文言の整理が必要なことから、条例の一部を改正する。	○

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

● ● ● ● 各議員の賛否の状況（全員賛成の議案等を除く） ● ● ● ●

議案名称	議決等の結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12
		剣持真菜美	新井 太一	四方田繁男	田中 隆久	福島 康弘	川浦 雅子	野口 弘吉	坂本 貴佳	堀川 光宣	赤羽奈保子	柴崎 愛子
町長提出議案 令和5年度神川町一般会計補正予算（第5号）	可決	-	○	○	-	○	×	○	○	○	○	-
神川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	-	○	○	-	○	×	○	○	○	○	-
神川町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	-	○	○	-	○	×	○	○	○	○	-
神川町手数料条例の一部を改正する条例	可決	-	○	○	-	○	×	○	○	○	○	-

○ 賛成 × 反対

— 柴崎愛子議長（議事進行）は採決に加わりません。
— 剣持真菜美議員、田中隆久議員は、欠席です。

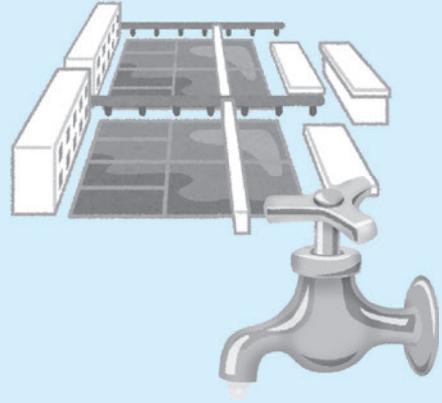
12月定例会の主な内容

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援 7万円を給付

地方給付金（追加給付金）事業費：1億1200万円
住民税非課税世帯に一世帯当たり7万円を給付する。
（1600世帯を対象）

子育て世帯への臨時特別給付金 1万円を給付

事業費：1億6500万円
18歳以下を対象に一人1万円を
給付する。（1650人を対象）



水道事業補助金

事業費：1507万円
水道基本料金の2か月分を減免
する。

町村議会議員研修会 フレサよしみ

令和5年10月6日（金）、吉見町のフレサよしみにて埼玉県町村議会議員研修会が開催されました。

事業構想大学院大学事業構想研究所・産業能率大学経営学部教授の川村昌美氏より「いま、なぜ、公民連携なのか」と題した講演が行われました。



役場前イルミネーション装飾作業

令和5年11月5日（日）神川町イルミネーション実行委員会主催による、役場前の飾り付け作業に参加しました。

華やかな色彩が建物に映し出され、冬の訪れを温かく迎え入れる素晴らしい機会となりました。



議会だより掲載記事の訂正について

議会だより令和5年12月1日発行No.72の7ページ下段の見出し「自主防災組織結成を引き続き支援します」と記載しましたが、正しくは、『地域おこし協力隊を引き続き支援します』となります。

また、12ページ下段の中ほど「令和5年度神川町水道事業会計補正予算（第1号）」と記載しましたが、正しくは、「令和5年度神川町介護保険特別会計補正予算（第1号）」となります。

お詫びして訂正します。

議会活動報告

認定こども園 意見交換を行う

12月7日(木)、文教厚生常任委員会協議会を開催し、教育長をはじめ、教育委員会学務課や町民福祉課と認定こども園の進捗状況（工事中の園児の居場所や、その期間など）についての説明を受け、先生方や保護者の意見を十分取り入れながら園舎の設計を進めるよう要望しました。また、生涯学習課とB&G海洋センタープール解体後の跡地利用について、意見交換をしました。多様なスポーツ活動が行える新施設建設工事にあたり、全町民への意見募集を踏まえ、バスケットやテニスコート、健康遊具などを整備すると説明がありました。



新橋建設の勉強会を開催

12月8日(金)、総務経済常任委員会主催の連合審査会を開催し、執行部から建設課職員の出席を求め、全議員で「国道254号本庄藤岡間バイパス及び新橋建設の現況について」の意見交換を行いました。



「埼玉県や群馬県への要望活動の状況」「藤武橋の混雑状況」などの質疑に対し、埼玉県内の橋梁の建設状況や群馬県側の整備状況などの説明がありました。

今後は、神川町議会として新橋建設の早期実現のため、要望活動などを行うことを確認しました。



スマホで議会！

スマホでQRコードを読み込むと「町HPから神川町議会のページ」が閲覧できます。

6月定例会は、6月4日
(火)から開催予定です。



編集後記

犬の散歩で、いつも通る道に春に咲く花のつぼみを見つけました。もうすぐ春が来ることが待ち遠しいです。

73号議会だよりは、一般質問・令和5年度補正予算などを掲載しています。

議会では、神川町の未来の活路となる前向きで発展的な議論ができるよう望んでいます。よい風がふきますように。

(新井 太一)

議会だより編集委員会

- ・委員長 赤羽奈保子
- ・副委員長 川浦 雅子
- ・編集委員 野口 弘吉
- ・編集委員 新井 太一
- ・アドバイザー(議長) 柴崎 愛子
- 田中 隆久
- 剣持真菜美

